

2024年7月25日

報道関係者各位

積水樹脂、創立 70 周年を機に  
CI（コーポレート・アイデンティティ）・VI（ビジュアル・アイデンティティ）を刷新し、  
グループスローガン「社会の景色に、安全と心地よさを。」を制定

積水樹脂株式会社（本社：大阪市北区、代表取締役社長 兼 CEO 馬場 浩志）は、本年 11 月 26 日で創立 70 周年を迎えます。これを機に、積水樹脂グループのロゴマークなど CI（コーポレート・アイデンティティ）、VI（ビジュアル・アイデンティティ）を刷新するとともに、グループスローガン、ステートメントを制定いたしましたので、お知らせいたします。

【積水樹脂グループロゴマーク】

SEKISUI  
JUSHI

【グループロゴマークに込めた思い】

異なるモノやコトを掛け合わせ、安全で心地よい未来の景色が広がる姿を JUSHI の「J」をカタチづくる 2 つのパーツで表現しています。「J」の黒パーツと 下側のグリーンパーツの間に、柔らかいラインで描いた空間で、広がっていく景色を表現しています。

# 社会の景色に、安全と心地よさを。

目に見えない安全や心地よさを、実際のカタチにする。  
いつものまち、くらしの風景をもっと良いものにする。

積水樹脂グループは、社会に生きる一人ひとりの想いや  
時代のニーズに、多様に応えていく会社。  
異なるモノやコトを掛け合わせる複合力を強みとし、  
交通や防災・減災、防音やバリアフリー、スポーツフィールドや農業支援など、  
様々な世の中の課題に応え、もっとやさしい未来づくりに挑みます。

私たちは仕事を通してワクワクし、ユニークな発想とオリジナルの技術で、  
日々の安全や快適、環境性をアップデートしたい。うれしい未来をかなえたい。  
あなたが街なかで気づく、小さな感動を共有したい。

これまでにない安全と心地よさで、新しい社会の景色をひらく。  
私たちは、積水樹脂グループです。

## 【グループスローガン・ステートメント制定の背景】

創立 70 周年を迎えたその先の 100 年企業へと成長していくことを見据えて、あらためて「自分たちの目指すところや  
ありたい姿、どんな価値を提供していくのか」について、経営層や社外インタビュー、グループ従業員へのアンケート、グループ  
横断的に選ばれたプロジェクトメンバーが議論して想いをまとめ、役員・従業員全員で検討して決定したものです。

「社会の景色」は、道路やまち、身の回りの景色、物流や農業なども想起させる、積水樹脂グループが事業ドメインとする  
様々な「景色」と「広がり」を表しています。そこに「安全」と「心地よさ」という積水樹脂グループの提供価値をわかりやすく  
メッセージ。なお「心地よさ」という言葉は、人や街、地球環境などへの心地よさ（＝環境性）という意味も内包しています。  
今後、このグループスローガンとステートメントのもと、グループ一丸となって企業価値の向上に努めてまいります。

以上

<積水樹脂株式会社>

1954 年の創業以来、複合技術を活かし安全・安心・環境保全に貢献するモノづくりによって、公共・民間の幅広い分野で  
事業を展開しています。 <https://www.sekisuijushi.co.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ

積水樹脂株式会社 法務・広報部 土井 [sjc\\_info@sekisuijushi.co.jp](mailto:sjc_info@sekisuijushi.co.jp)

TEL : 06-6365-3204